

上三川町総合教育会議 会議録

会議の名称	令和 5 年度上三川町総合教育会議	
開催日時	令和 5 年 10 月 26 日 (木) 午後 2 時 18 分 開会 ・ 午後 3 時 28 分 閉会	
開催場所	上三川町役場 4 階 各種委員会室	
議長の氏名	星野光利町長	
出席者 (委員等) の 氏名・出席者数	星野光利 町長 氷室 清 教育長 関 美恵 職務代理者 吉田由美 教育委員 松枝健一 教育委員	出席者 6 名
欠席者 (委員等) の 氏名・欠席者数	清水智生 教育委員	欠席者 1 名
事務局職員 の職・氏名	総務課長 星野和弘 総務課長補佐 前原昌史 総務課総務人事係長 坂入智子 教育総務課長 佐藤史久 教育総務課主幹兼指導主事 渡辺友見子 教育総務課長補佐 野口敏弘 生涯学習課長 深谷 昇 生涯学習課長補佐兼生涯学習係長 川島直人	
会議次第	1.開会 2.町長あいさつ 3.議事 (1)上三川町立小中学校の適正規模・配置に向けた基本方針(案)について (2)その他 4.閉会	
配布資料	1.【資料 1】 上三川町立小中学校の適正規模・配置に向けた基本方針 [案] 2.【資料 2】 上三川小学校の児童数増加に対する対応について 3.【資料 3】 基本方針までの経緯 4.【資料 4】 上三川町立小中学校の教育環境に向けたアンケート	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
総務課長	<p>皆様こんにちは。定刻より早いですが皆様お集まりですので、ただ今から、令和5年度上三川町総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます総務課長の星野です。よろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、お手元の資料の確認をお願いいたします。配付しております資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1「上三川町立小中学校の適正規模・配置に向けた基本方針(案)」 ・ 資料2「上三川小学校の児童生徒数増加に対する対応について」 ・ 資料3「基本方針までの経緯」 ・ 資料4「上三川町立小中学校の教育環境に向けたアンケート（調査結果）」 <p>以上となります。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは早速ですが、次第に沿って進めてまいります。開会に当たりまして、星野町長からご挨拶を申し上げます。</p>
星野町長	<p>教育委員の皆様には、ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>先日は、小学校でも運動会が実施され、元気ある子どもたちの姿を見てきたところ。多くの来賓やご家族の方が参観に訪れている様子から、これまでと同じ日常や活気が学校にも戻りつつあると感じたところです。</p> <p>私は毎朝徒歩で通勤をしておりますが、上三川小学校と本郷小学校の一部の児童や上三川中学校や本郷中学校の生徒と会うのですが、通学班の一部の児童や、中学生の一部の生徒が、「おはようございます」と元気な声であいさつしてくれるのが非常に楽しみでございましたが、コロナ禍の影響なのか最近笑って挨拶してくれる児童や生徒が少なくなったと思います。</p> <p>挨拶をしても、会釈をしてくれれば良いのですが、下を向いたり、反応がない状況の児童生徒の割合が多くなってきたような気がします。また、社会人や大人になって職場の中で挨拶に対する指導は受けると思います。</p> <p>挨拶については非常に大切なものだと考えておりますが、変ってきているなど感じました。</p> <p>本日は、「学校の適正規模・配置に向けた基本方針」の案を教育委員会が主体となって検討されたということですが、子どもの少子化は、全国的にも顕著なスピードで進んでいるところです。今後の学校や地域の在り方にも、大きな影響を及ぼしていくものと考えられます。</p> <p>皆様には、この方針案づくりに至る経緯や、それぞれの思いを十分にいただきながら、協議を進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

星野総務課長	<p>では次に、次第3の協議事項に移らせていただきます。協議の進行については、星野町長にお願いをいたします。</p>
星野町長	<p>それでは、暫時の間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。早速、協議に入らせていただきます。</p> <p>本日の協議事項「上三川町立小中学校の適正規模・配置に向けた基本方針(案)」は、教育委員会から協議の申し出がありましたので、まず教育委員会から協議理由と協議内容の説明をお願いいたします。</p>
氷室教育長	<p>それでは、説明いたします。</p> <p>先程町長からお話もありましたとおり、児童生徒の減少につきましては、肌で感じているところでございます。それが急速に進展しており、資料3にありますように、教育委員会でもこれまで子どもたちにも、より良い教育環境や充実した教育活動が展開できるようにどのようにしていけばいいのかということについて2019年度から考えてまいりました。</p> <p>このことについて、今回案として基本方針がある程度まとまりましたので、本日、町長と協議したいと考え、提案させていただきたいと思っております。</p> <p>これまでの経緯について、簡単にまとめたものを説明させていただきたいと思っております。</p> <p>最初に2019年12月に、教育大綱と適正規模・適正配置について、教育委員会の中でスケジュールにおける話し合いを進めてまいりました。適正規模・適正配置を行うには、まず教育環境というよりも教育内容をどのように充実したら良いかということで、教育大綱を先に策定してからその後、適正規模・適正配置を検討していくことになりました。</p> <p>教育大綱については、2020年度の中で町長と話し合いをさせていただきながら研究をしたところでございます。</p> <p>適正規模・適正配置については、学校の在り方検討委員会を設置し、教育委員会として諮問したところでございます。</p> <p>1年間をかけて検討委員会にて会議を実施し、昨年2月に教育委員会に答申書が提出されたところです。答申を受けて2022年度は事務局において今までの事例、先ほど述べました経過を含めて今年度4月から基本方針を作成するためのスケジュールを検討し、児童生徒保護者や一般町民へのアンケートを実施し、8月から基本方針の草稿案を検討してまいりました。</p> <p>本日は案として、最終的にお示しできるものが出来上がった次第でございます。</p> <p>この後の予定でございますが、本日すり合わせをした内容について、さらに検討し、12月に基本方針として教育委員会で決定し、来年3月に方針を公表したいと考えております。</p>

野口補佐	<p>私からの資料3の説明は以上となります。</p> <p>資料4について説明いたします。</p> <p>上三川町立小中学校の教育環境に向けたアンケート〔調査結果〕について説明いたします。</p> <p>1 ページをお開き願います。</p> <p>1. 調査の目的といたしまして、上三川町立小中学校の望ましい教育環境の在り方に向け、学校の適正規模及び適正配置を審議する上で必要な事項について、保護者、地域住民の意識を把握するために実施いたしました。</p> <p>2. 調査につきましては、小中学校の保護者と地域の一般町民及び幼稚園・保育所の保護者家庭を対象に令和5年6月5日～6月23日に実施いたしました。</p> <p>3. アンケートの設問については記載のとおりでございます。</p> <p>4. 回答数についてでございますが、小中学校の保護者について配布数は1,718通で回答数は693通、回答率は40.3%ございました。</p> <p>地域住民につきましては、一般町民と幼稚園・保育所の保護者家庭を対象に実施し、</p> <p>一般町民については、500通を発送し回答が112通で回答率22.4%。</p> <p>幼稚園保育所の保護者家庭については、500通を発送し、回答が236通で回答率が47.2%ございました。</p> <p>合計2,718通を発送し、1,041通の回答数があり、回答率につきましては38.3%ございました。</p> <p>なお、2ページ・3ページの回答者属性につきましては、説明を省かせていただきますので、後ほどご確認をお願いいたします。</p> <p>4 ページをお開き願います。</p> <p>第3章アンケートの集計結果でございます。</p> <p>問5の小学生の望ましい徒歩通学時間についてでございますが、「30分以内」の回答率が64.6%を占めております。「45分以内」が16.2%、「15分以内」は15.1%で、各学区別にクロス集計したところ、どの学区においても「30分以内」と回答した方が6割を超える結果となっております。</p> <p>5 ページをお開き願います。</p> <p>問6の小学校の望ましい学級数でございますが、「3学級以上」との回答が47.6%、「2学級」が46.2%と複数学級を選択した割合は約94%となっている一方で「1学級」は6.1%となっております。多くの方が小学校での複数学級を希望していることが分かる結果となっております。</p> <p>次に6ページになります</p> <p>1学年1学級と答えた理由として、「きめ細かな指導」が一番多く、次に「他の児童との親密」となっております。</p> <p>「2学級」又は「3学級以上」と答えた理由として「多様な考え」が一番多く、次に「クラス替え」となっております。</p>
------	---

7 ページをお開き願います。

問 7 の小学校の小規模対策でございますが、「区域変更」が 59%と一番多く、次いで「小中一貫校」「学校統廃合」の順で回答が多い結果となっております。

次に 8 ページになります、

問 8 の小学校の大規模対策でございますが、小学校の小規模対策と同様に「区域変更」が 55.8%と一番多く、「現状維持」「学区外通学」の順で回答が多い結果となっております。

9 ページをお開き願います。

問 9 の中学生の望ましい徒歩通学時間でございますが、小学生の通学時間と同様に「30 分以内」が 59%と一番多い回答となっております。

なお、「45 分以内」「15 分以内」という順になっており、中学生については自転車通学となることも踏まえ、小学生と比較して通学時間の短い「15 分以内」は少ない数値となっております。

次に 10 ページになります。

問 10 の中学生の望ましい学級数についてでございますが、「4～6 学級以上」が 60.1%と半数を得る回答となっております。「1～3 学級」は 37.5%で「7 学級以上」を希望する回答は少数でございました。なお、年齢別及び回答種別にクロス集計しましたがほぼ同様の結果となっております。

11 ページをお開き願います

1 学年「1～3 学級」と答えた理由として「きめ細やかな指導」が一番多く小学校と同じ結果となっており、「活躍の場」が 2 番目となっております。

「4～6 学級」または「7 学級以上」については、「多様な考え」が一番多く小学校と同じ結果となっており、「切磋琢磨の機会」が 2 番目となっております。

次に 12 ページになります。

問 11 の中学校の教科指導のできる教員確保についてでございますが、「区域変更」での対応について 57.4%と多く、「小中一貫校」、「学校統廃合の検討」はほぼ同じ割合でございました。なお、小学校の小規模対策とほぼ同じような回答傾向となっております。

13 ページをお開き願います

問 12 の義務教育学校についてでございますが、「賛成」「やや賛成」の合計が 77.3%で、多くが好意を示す結果となっております。

また、13 ページから 14 ページにかけて記載しております年齢別及び回答種別についても同じ回答傾向となっております。

15 ページをお開き願います。

問 13 の地域コミュニティとしての機能でございますが、「快適な学習環境」が 76.1%と大半を占めており、児童生徒が充実した学習のできる環境の構築を期待している回答が多い状況となっております。また、2 番目に「子育て支援機能」、次に「防災拠点」となっており、複合的な施設の充実を求める声が多い結果となっております。

	<p>16 ページ以降については、自由意見となっております。</p> <p>登下校の通学に係わる意見が多く、特に通学の際の安全面や学校までの距離が遠いことからスクールバスの運行も含めた検討をという意見が多数ございました。</p> <p>また、学区の柔軟な対応ということで学区の編成などの意見も見受けられる状況です。</p> <p>教育の質に関わる意見も多数あり、関連していると思われませんが、現在、学校でのイベントにおいても児童生徒数の状況により内容についても格差があるのではないかなどの意見もございました。</p> <p>学校施設の老朽化についても触れられており、再編も含めて検討願いたいという意見もございました。</p> <p>18 ページから 19 ページにかけては、『数年後に就学する子の親の立場として、通学中の安全確保と災害時の安全確保が最も気になります。義務教育学校の制度にも関心があり、本郷地区や明治地区に設置するのも良いかと思えます。昔はあっちが分校だったのに、今や本校より人数が多いというような事を高齢の方は言うかもしれませんが、そんな事を聞いていると財政的にも設備的にも教育水準の低下が避けられません。教職員の皆様の御負担が少しでも軽減出来るような仕組みで再構築を目指していただきたいと思えます。』という意見もあり、自由意見として、真剣に記載をしていただいたと思っております。</p> <p>以上でアンケート結果について説明を終わります。</p> <p>ただ今、経緯とアンケート調査結果について説明がありました。</p> <p>教育委員の皆さんは、これまでも数多く学校に足を運ばれていますので、学校現場の現状やこのアンケート結果について、皆さんのお考えがあればお聞かせ願います。</p> <p>アンケート結果は思った以上に複数学級を望んでいるというものがあり、その背景には、共稼ぎ家庭などが増えて PTA 活動での負担などを感じている保護者などの意見をよくお聞きします。また、そのようなことが背景にあり、地域が少しずつ衰退しているのかなと感じました。</p> <p>学校を視察している中で、人数が減るということが、教職員や児童生徒たちにも負担になっている部分が見受けられ、私は図書ボランティアで小学校に入ったときに、清掃を見ていて、非常に大変だなと思いました。あれだけの施設を、あれだけの人数で、特別教室なども割り振って行っているのを見て、先生方も走りながら、終わったかチェックを行い、今の子どもたちは雑巾や箒なども使ったことが無いので、また、モップも小学校においてはそのまま置いてあるので衛生面でどうなのかという感性もあり、すごく難しいなと思いました。</p> <p>また、中学校の部活動で経験したことで、急激に人数が減ると人数が必要な部活というのは存続が厳しく、私も 7 年前に長男がサッカー部に所属していたと</p>
星野町長	
関職務代理者	

	<p>きは 60 人態勢で部活動を保護者の会長として回していましたが、7 年経過し最後は 6 人だったので廃部か休部という動きになって、本郷中学校と一緒に合同チームということで活動を行っていましたが、現実、学校間の問題もあり、難しいというのが保護者として判って、協力的にサポートをしても、本当にサッカー部を存続させたいという思いもありましたが、これだけ大変な思いを保護者としてできるのかなという思いと、また、子どもたちも練習ができない環境で続けさせていいのかという悩みをもった中で、先生方とお話し合いを行い、休部という形をとったのですが、下の年代の子どもたちが悩んでいて、やはり規模数が減ると選べる環境や教育の質もそうですけれども、部活動も選べないというところで、小学生の保護者からも、「今後、部活動はどうなっていくのですか」ということを聞かれていて、早急に環境が変わっていく中で対応しないと埋もれてしまう世代が出てくる可能性があるのではと痛感しております。</p> <p>特に小学生ですが、学校は安全で安心な場所ではなくてはいけないと思いますが、安全面では行き帰りも安全でなければいけない。</p> <p>児童が少ないところでは登校班も少ない状況で、通学班の最後の頃は一人で帰るケースがあり、結構危ないと思います。</p> <p>学級数についても、やはり 1 学年 1 学級ですと、うちの子もそうでしたが、本当に合わない子がいて、学校に行きたくないと言い出す場合もあり、それについてはこちらの問題でもあるかもしれませんが、そのような場合にクラス替えができれば、学校に行きたくないという気持ちが解消される場合もあると思います。が、中学校に進学し、普通に学校には行っていました。</p> <p>やはり、なかなか合わない子というものもあると思いますので、そういう意味からも最低限、複数学級は小学校にもあったほうが良いと思っていますので、関職務代理者と同じように、早いうちに方針を出して、小学校をなんとかしていきたいという思いがあります。</p>
<p>松枝委員</p>	<p>吉田委員</p> <p>関職務代理者や松枝委員と同じように、小学生の登下校を見ていると、登校班が本当に兄弟だけで通学をしていて、保護者が送迎してしまうような状況が見られて、登校班 2 人で歩いているのは安全面からするとちょっと大変かなと感じます。</p> <p>それからクラスが 1 クラスになってしまうと、中には性格が合わないことからケンカをしまい馴染めないという子もいると思いますので、そのような点でも複数学級があるとクラス替えの対応ができる可能性も感じます。</p> <p>クラスの人数が少ないため、先生方の数も限られてしまうので、学校の様々な行事の運営などが難しくなっていると感じます。</p> <p>それに伴い児童数が少ないことは保護者の数も減少していますので、PTA 活動にも支障が来ておまして、部活動においても数年前から何部が無いとかいうのは聞いております。様々な部が縮小されており、執行部の方も仕事の都合とか</p>

<p>松枝委員</p>	<p>で活動がままならないという話も伺っています。そうすると、PTA 活動を通しての地域との関わりが無くなってきていますね。</p> <p>学校については、防災の面でも避難所としてのあり方も大事な場所ですので、考えていかなければと感じます。</p> <p>施設の老朽化についてですが、築年数がほぼ一緒で、何か手を打たなければというがあるので、今後のことも考え、ある程度まとめて進めていければ良いのかなと思っています。</p>
<p>氷室教育長</p>	<p>アンケートの項目の中に義務教育学校の回答項目があったのですが、賛成に対する意見がとても多く、あり方検討委員会の時に絹義務教育学校と南河内小中学校を視察してまいりましたが、絹義務教育学校については、小学校 2 つと中学校 1 つが合併したということで、最初、合併した当時は中学校も 2 クラスありましたが、小学校については 1 クラスだったので、最終的には小学校も中学校も 1 クラスとなってしまいました。</p> <p>義務教育学校だから教員の定数が多くなるかという、そうではなく、小学校は小学校単位で何人、中学校は中学校単位で何人。中学校 3 学級なので、教員数は 6 人しかいないのです。</p> <p>教科は 10 教科があるのですが、教員が 6 人しかいないので 4 教科が教えられないと、それを小学校の教員が教える。逆に言えば小学校も 6 学級なので教員が 7 人しかいないのです。小学校だって 9 教科ありますので、9 教科を教える人が足りないから、中学校の先生が教える。教科を揃えればいいのではと思うのですが、義務教育学校中学校 3 年生を担当している音楽の先生は、小学校 1 年生から中学校 3 年生までの 9 クラスを見ている。各クラスを見ることは珍しいことではないのですが、中学校の 1 年生、2 年生、3 年生を 1 人で見えています。</p> <p>それが、小学校 6 年生まで見ると通知表をつけるときの評価が大変だという話をされておりました。</p> <p>その後、下野市の南河内小中学校に行った時に、祇園があり、ある程度大きい学校だったので、学級数を保てております。教員の数もそれなりにおりまして、絹とはまた違った形なのです。小さいところが義務教育学校になり、それなりに進められるかという、教員の負担がすごく大きくなるということを感じて、今回 13 ページに義務教育学校の賛成意見が多かったですが、義務教育学校は残された手段として、義務教育学校を進めるのはまずいのだろうと感じました。</p> <p>積極的に取り組んでいく、このようにしていけば、このような未来像が見えるという形ならば提案しても良いのかなと思ったのが、義務教育学校のアンケート結果と自分が見た感想です。</p>
<p>星野町長</p>	<p>後にもつながるので、いま資料 3, 4 の説明をいただきましたが、資料 1 と 2 の説明をいただいてから、また、皆さんにご意見をいただきたいと思います。</p>

佐藤課長

それでは資料 1 と 2 について説明させていただきます。

小中学校の適正規模配置に向けた基本方針の案ということで、目次があります。「Ⅰ基本方針策定にあたって」、「Ⅱ上三川町小中学校の現状と課題」、「Ⅲアンケートの集計結果」、「Ⅳ小中学校適正規模適正配置の基本方針」と「Ⅴ基本方針の実現に向けて」、「Ⅵその他」の 6 部構成になってございます。

1 ページの「Ⅰ基本方針の策定にあたって」でございます。

近年、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されています。

国では市町村に対し、地域の実情に応じ、教育的な視点から少子化人口減少社会に対応した活力ある学校づくりのための方策を検討していくことを求めています。

上三川町においても、人口減少及び少子化等の将来的な見通し等を踏まえまして、限りある、財源資源の中、望ましい学校教育環境を整備することへの対応が必要になってきております。

このような状況の中、教育委員会では令和 3 年 4 月に上三川町立学校在り方検討委員会を設置いたしまして、今後の児童生徒にとって望ましい小中学校の将来の展望したあり方や学校の適正な規模及び配置に関する基本的な考え方について諮問を行い、令和 4 年 2 月に上三川町立小学校及び中学校の将来を展望したあり方についての答申が提出されたところでございます。

教育委員会では、この答申を受けまして、小中学校保護者や一般町民、また、未就学児の保護者のアンケートを実施し、今後の町立小中学校の適正な規模及び配置の基本となる方針を定めることといたしました。

2 ページをお開きください。

「Ⅱ上三川町立小中学校の現状と課題」でございます。1 といたしまして、児童生徒数の推移と見込みでございます。

昭和 61 年度の 3,491 人をピークに年々児童生徒数は減少し、令和 5 年度は小学校児童 1,592 人、中学校生徒 862 人の合計 2,454 人で、これは昭和 61 年度の 70%の児童生徒数となっております。

令和 4 年 4 月に、現在の住民基本台帳から児童生徒数を推計いたしますと、令和 9 年度の全小学校児童数は 1,490 人となり、現在より 120 人減少する見込み、学校別に見ると上三川小学校は児童数が増加傾向にございますが、令和 8 年度には 680 人となる見込みです。

坂上小学校、明治南小学校では、令和 7 年度から新入学生が 10 人以下となりまして、その後、本郷小学校、本郷北小学校においても新入学生が 12 人以下の年が見込まれるようになってございます。

中学校では、令和 15 年には 708 人と現在よりも 150 人減少する見込みです。

本郷中学校におきましては、令和 8 年には各学年 2 学級となりまして、令和 14 年には 1 学級となる学年が見込まれるところでございます。

学校ごとの詳細は次のページの表のとおりとなっております。

3 ページに移ります。

2 の学級数の推移と見込みですが、小学校では全学年が 1 学級である学校が 3 校、12 学級の学校は 1 校。中学校においては 12 学級以上の学校は 1 校となっております。

今後の見込みの詳細につきましては、下の表のとおりとなっております。

3 の小中学校の課題でございます。

(1)といたしまして、小学校の課題でございますが、児童数は全体的に減少ではあるが、上三川小学校では増加傾向にあり、学級数が増えることで教室の数が不足する懸念が生じてございます。

4 ページに移ります。

令和 9 年度において、複式学級までとは至らないと予想されますが、複数の学校で 10 人以下の学級ができてくるような状況でございます。

続きまして中学校の課題です。

一つ目本郷中学校と明治中学校の部活動では、生徒数の減少により十分な部員の数を集められず、チーム編成ができない可能性があります。また、十分な指導者数を確保できないという状況でございます。

二つ目といたしまして、本郷中学校は令和 8 年度から各学年 2 学級の全校 6 学級、令和 14 年には全校 5 学級となり、教科指導も含め学校運営が厳しい状況になると予想されています。

続きまして、小中学校共通の課題でございます。

一つ目といたしまして、児童生徒数が少なくなることによりまして、グループ作業や協働した学びの機会が減少いたしまして、学習指導要領が目指す、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが困難になる懸念が生じております。

二つ目といたしまして、学校規模による教育環境の不均衡や地域格差といった問題が生じる可能性がございます。

三つ目といたしまして、配置される教職員数が少なくなることにより、教職員 1 人当たりの業務負担等が増えるため、児童生徒に向き合う時間が少なくなる可能性が生じてきます。

四つ目といたしまして、学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難になる可能性が生じるということになります。

続きまして 4 の校舎と施設についてでございますが、上三川町の学校施設は次のページの表にございますとおり、昭和 40 年代から 50 年代にかけて建設されたものが多く、現在築年数が 40 年以上のものは 6 割を超えております。

経年劣化や改修を必要とする箇所も多く、老朽化は大きな課題となっております。今後、学校施設の修繕費用は増加することが見込まれてございます。

5 ページに移らせていただきますが、「Ⅲアンケートの集計結果」につきましては、先ほど説明いたしましたので省かせていただきます。

10 ページをお開きください。

「IV小中学校適正規模適正配置の基本方針」でございます。

上三川町の特色ある教育をより一層推進し、実現を図るためには一定の学校規模が必要と考えます。検討委員会の答申では、教育環境として望ましい学校規模として次の表を基準としてございます。

小学校の適正な学級数が12から18学級で1学年あたりが、2から3学級。

中学校といたしましては、9学級から18学級で、1学年あたり3から6学級でございます。

また、アンケートでも第一に上がったのが安全であり、安心できる学校や通学についてでございます。

児童生徒の安全面と心身の過度な負担とならないことを前提とした通学方法を検討することが望ましいと考え、検討委員会の答申では、通学距離、通学時間や通学路の安全確保に十分配慮することを述べてございます。

このことを踏まえまして、次のとおり基準等を定めまして、教育委員会の学校の適正規模や配置に関する基本的な方針といたしました。

11ページをお開きください。

①といたしまして、小中学校の望ましい規模の基準です。

小学校は12学級以上18学級以下、中学校は9学級以上18学級以下。

②が小中学校の望ましい通学時間の基準でございます。

小学校は徒歩で片道30分以内の通学時間、中学校については自転車で片道30分以内の通学時間。

安全面に配慮した通学方法、スクールバス等の整備によりまして、均一化を図ることは可能であると考えられます。

続きまして③です。

施設への効率的な集中投資を実現して、充実した教育の実現を目指す。

この3つが基本方針ということになってございます。

「V基本方針の実現に向けて」ということで具体的にどのようにしていくかということでございますが、1中学校の適正規模と適正配置でございます。

(1)といたしまして、中学校は今後5年以内に適正配置の検討を行い、今後10年以内を目途に中学校1校に統合する学校の再編を実施する。

12ページをお開きください。

2といたしまして、小学校の適正規模適正配置でございます。

(1)といたしまして、上三川小学校の過大規模化や他校の小規模化が今後も進むと予則されることから、上三川小学校に隣接する区域においては、早急に通学区域の弾力化を実施いたします。

(2)といたしまして、隣接区域選択制の効果を見て、それでも小規模化する学校の改善が見られない場合、おおよそ10年以内に小学校の適正配置の検討を行い、15年以内を目途に学校の再編を実施します。

3の義務教育学校でございますが、先ほど教育長からもございましたが、保護者や地域のアンケートからは義務教育学校を望む声も多くございました。小規模

の小学校と中学校とは一体化してもメリットは少ないという観点から、教育委員会としては義務教育学校の設置よりも学校の再編に向けて議論を進めた方が良いというような考えになりました。

4の今後のスケジュールの案ですが、(1)といたしまして第1期計画といたしましては、小学校隣接区域の選択制の実施ということで、令和6年度に説明会を開いて、令和7年度から実施をしていきたいというふうに考えてございます。

(2)といたしまして、中学校の適正配置の検討、統廃合の実施でございますが、令和8年から10年に検討いたしまして、その後15年までに開校準備を行っていくというような状況でございます。

(3)といたしまして、小学校の適性配置については、令和13から14年度くらいに適正配置等の検討を行い、令和20年度の開校準備に向けて進めていきたいという計画でございました。

「VIその他」といたしましては、あり方検討会の答申では、学校の再編成を検討するにあたっての留意事項として、次の5つが指摘されました。また、学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、防災、地域の交流、児童を預かる学童、クラブスポーツの場など様々な機能を合わせて持っており、今後、基本方針において示した学校の適正規模適正配置を具体化していく際には、地域住民の理解と協力を得る必要があります。

このため、学校の適正規模適正配置を進めるにあたっては、児童生徒の教育環境の改善の観点を中心に据えつつ、地域住民との意見交換を行いながら地域ニーズとの整合性を図りつつ、連携して進めていくものといたします。

こちらが基本方針の案でございます。

続きまして、資料2を説明させていただきます。

先ほど計画の方で上三川小学校の児童の増加に対する対応ということで、来年度説明会を行い、再来年の実施ということでお話しさせていただきましたが、具体的にどのようにしていくかということですが、現状と課題についてはこれまで述べさせていただきましたので、省略させていただきます。

対応といたしましては、通学区域の隣接区域の選択制ということで、実施する小学校につきましては、上三川小学校と坂上小学校、上三川小学校と本郷小学校、上三川小学校と明治南小学校と考えております。

実施方法については、令和7年度新入生より就学先を拡充し、在校生徒につきましては、令和7年度のみ就学先の変更を認めるということで、上蒲生北部の一部で北小と上三川小学校の選択制を行ったところですが、それと同様な方法で実施していきたいと考えてございます。

説明については以上でございます。

星野町長

この案をこれまでまとめていただくにあたりまして、教育委員の皆さまには検討されたと思いますが、佐藤課長の説明の中で上三川小学校の現状について省略をされていましたが、実際の上三川小学校の現状において数字ではこのように状

<p>渡辺主幹</p>	<p>況となっておりますが、教育現場において、あの規模で生徒数、児童数について、問題になっているところを、もう一度改めて教えていただきたい。</p> <p>生徒指導上の問題から申し上げますと、発達に課題を抱えたお子さんが非常に多いかなというところでは、個別対応が求められている中で、お子さんの発達の状況も様々な状況ですので、先生方の負担も非常に多く、また、実際のところ特別支援学級に在籍するお子さんの数も、上三川小学校は特に増えており、多い傾向にあります。</p> <p>実際、特別支援学級の児童も増加しそうな傾向でもありますので、それに伴って教室の問題や、通常学級にいながらも個別教室等で対応しているお子さんも非常に多くなっておりまして、教員の数の問題もあるので、全てのお子さんに対応ができていないのですが、そういったところで非常に個別対応が課題となっている現状がございます。</p> <p>中には、校長先生が直接校長室で対応せざるを得ないような状況が続いております。</p>
<p>氷室教育長</p>	<p>今年の教育支援委員会が11月中に行われますが、もしかすると特別支援学級が一学級増設しなければならない状況で、また、児童数も増えているので、教室が足りなくなるという可能性がございます。</p> <p>児童数がこれだけいて校庭が狭く、非常に課題は大きなと感じます。</p> <p>上三川小学校規模については、200人規模の学校から比べると、負担は大きいと思います。</p>
<p>星野町長</p>	<p>基本方針案についても、先ほど皆様に伺った内容が盛り込まれているという感じがしました。</p> <p>小規模校の不安というのは、あらゆる面で指摘をされているところでそこに対応した案というふうに感じましたが、さらに皆さんご意見をいただければと思います。</p>
<p>松枝委員</p>	<p>一応、このように計画を立てて、基本方針の面でも決めておりますが、状況がかなり逼迫しているような感じは受けるので、小学校についても、6年、7年で、地区を選択するような制度を設けて実施したとしても、どれぐらいの実績が出るのか不安なところもあるので、早め早めに検討していかなければと思います。また、施設の問題について、施設の老朽化や地域の活動の場としても小学校についてはかなり使われておりますので、今後どのようにしていくか、ということも頭が痛いところでもあります。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>上三川小学校につきましては、早急に地域の選択性を実施していきまして、少しでも坂上小学校や本郷小学校、明治南小学校へ児童が行っていただければと感</p>

<p>関職務代理者</p>	<p>じます。</p> <p>他の小学校に関しましては、空き教室が結構目立っていますので、そちらの有効利用というのも課題かと思います。</p> <p>小規模に行って見ていると吉田委員がおっしゃったとおり、空き教室がかなりありまして、活用がほぼできてないのが現実で、上三川小学校の現状をお聞きしますと、それをうまくできたらというのはあります。</p> <p>この学区に関して自治会からの移動というのを見ても厳しいというのがあり、これで対策って言ってもどうなのかというのがあります。</p> <p>また、中学校において想像以上に先生方の人数が減ってしまっていて、生徒たちが減るっていうことは、先生や生徒にも負担があるなというのが分かりました。</p> <p>私は、明治中学校が全学年 5 クラスというのを経験して、現在 3 クラスになっている現状を見た時に、以前は部活動 1 つに対して先生が 3 人ついておりました。</p> <p>そうすると先生方で病気や出産、また、介護の問題があった時に先生方が 3 人いればやっていけたのが、現在サッカー部が 7 月に休部となり、その先生方は何をしているのかと思ったら、もう次の部活にすぐ配属されているので、それだけ先生方も大変なのではないかというのを、肌身で感じております。</p> <p>中学校を早めに対応しないと大変なのではと思います。</p>
<p>星野町長</p>	<p>上三川町では、去年まで待機児童が出ているのは、県内で上三川町だけでした。</p> <p>去年 10 月に 14 人に対して、今年 4 月から一つ施設が増えたので、今のところ待機児童については発表されておりませんが、保育所の定員も、私が町長に就任した時 410 人から 430 人に変わった年で、現在 716 人まで増やしているのですが、それでも待機児童が出ております。</p> <p>以前は 3 歳ぐらいまではご家庭で保育をして、幼稚園にあげるというご家庭も多かったのですが、今はもう生まれて 0 歳・1 歳で預けて働くという家庭が増えており、そのほとんどが上三川小学校区に家を建てている現状で、児童が増えている状況です。</p> <p>町の活性化という意味では、人口が増えるということは良いことなのですが、逆に子育て支援センターにお子様を預けているお母さんたちは、今アパートに住んでいて、子どもができたので、家を建てたいと思うのですが、上三川町には建てられる場所が無いという悩みも聞いており、そういうことに応えようとする、上三川小学校区しかないというのが現実で、都市計画法・農地法という法律があるので、現状では上三川小学校区だけが増えていく状況で、これは避けられないです。</p> <p>ただ、この案で中学校の統廃合や小学校統廃合が検討されている中で、上三川小学校に校舎を増築というの、場所が無いですし、多額の資金を投入して、統廃合をしても、あの校舎は使えないとなると、税金を使う側からすると非常に問</p>

	<p>題が多いという考えがあつて、皆さんからご意見をいただいている内容と、私の意見も一致するところですが、皆さんの早めに対応をとという話をいただいて、この内容がもうちょっと前倒してやらないと厳しいのではないかという皆様の考えなので、この案は案として、実際の運用面で考えると、早めに対応をしていかないと上三川小学校がパンクしてしまう、そういう恐れがあるのかなという感じがしています。</p> <p>民間の不動産会社などが、私のところに来て、「土地がちょっとでもあったら教えてくれ。」上三川町は非常に民間企業が住宅を作るとすぐに売れるので、企業としては非常に注目している場所なのです。</p> <p>上三川町で建物が建てられる土地があれば、そこに分譲をかけ募集をかければ、県内外から上三川町を選んで住んでくれる人が多いので、民間企業としては情報があつたら町長さん教えてくださいという話があり、それも上三川小学校区のイメージです。</p> <p>そういう面で、魅力があるというふうに評価されたらうれしいことですが、一方で、上三川小学校区のみが増えているという環境はかなり厳しいものがあります。</p>
吉田委員	<p>市街化調整区域には土地はたくさんありますが、住宅を建てられない場所なので、また、石橋駅の東口周辺が市街化調整区域なので同じような状況が起きています。</p>
星野町長	<p>市街化調整区域を住宅が建てられる市街化区域にするということは、絶対に許可にならないと思います。</p> <p>産業団地も市街化区域なのですが、産業団地の用途は許可になるのですが、商業施設や住宅地を作る場合には相当ハードルが高いので、ただし、上三川町に土地を求めて家を建てたいという需要が多いというのも事実なので、そこについては県と協議をしまいいりますが、住宅を建てても良い場所が、上三川小学校区では、首を絞めてしまうので、そこについては県の関連する部署と協議を開始することになりました。</p> <p>町長部局の方からも、教育委員の皆様をお願いという形になりますが、この方針案よりも皆さんのご意見では、前倒した方が、また、早くした方が良いのではという意見をいただいております。</p> <p>特に上三川小学校に関しては、喫緊の課題となっておりますので、先ほど説明のありました区域の変更も含めて考えいただいているようですが、実効性のある対策を考えていただき、相手があることなので、来年 3 月にこの内容がオープンになった上で、上三川小学校に新たな校舎を「作る」、「作らない」と言っても、このような計画があるのに、同じ場所に校舎を建てるといような議論が出てきます。</p> <p>また、子どもたちが厳しい状況に置かれていてそのままでよいのかという話に</p>

氷室教育長	<p>もなるので、この辺については、皆さんからのスピードアップという話をいただいたので、教育長部局でさらに検討を深めていただければありがたいと、町長部局から強く感じているところです。</p> <p>ここで示したスケジュールはあくまでも案で、教育委員としてこんな案がいいのではないかと。また、考えた方針というのは11ページの四角が、教育委員が考えたこのような基準で行っていきますというものなので、そこに向けてやっていくには、きっとこのようなスケジュールではないかなと思います。</p> <p>実質的に教育委員会の部局ではできないところなので、これから先の話については、町長部局の方でも現状の情勢を踏まえたうえで、どのような見解になるかということも検討していただきましてお示ししていただければ、教育委員会としては非常にありがたいと考えております。</p> <p>最初に関職務代理者より「遅いのではないかと」というお話がありました。「もっとスピードアップしないと間に合わないのではないかと」という話がありましたが、様々な事情があり、お金もかかる話なので、スケジュールについても余裕をもった案で考えました。</p>
星野町長	<p>先程、教育長からもお話がありましたとおり、上三川町は54.39k㎡そのうち半分以上が農地で、市街化調整区域には住宅が建たないということが面積的には多い中で、どのように区割りや学校の再編をするかですが、住宅が建たないところに学校を建てても、学校の周辺に人が住めないのだから、現在、住宅が建つところは上三川小学校区と北小学校区の一部と明治中学校区には一部市街化区域がございますが、なかなか広げられない状況なので、教育委員会の所管していない様々な法律との絡みもありまして、今後の計画については町長部局と教育長部局ですり合わせをしながら、計画を実行できるように、共有する場が出てきますので、その際にはよろしく願いいたします。</p> <p>何かご意見はございますか</p>
(各委員)	(意見無し)
星野町長	<p>ありがとうございました。町行政としても、教育委員の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと考えています。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
星野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これもちまして、本日の会議は閉会とさせていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>